これからも安心して住み続けられる　ぬくもりのあるまちづくり

伊奈町

伊奈町　企画課
担　当　政策企画担当
TEL　048-721-2111（内線２２１６）
E-mail　kikaku@town.saitama-ina.lg.jp

≪報道発表資料≫

令和 8 年 11 月 18 日

発表タイトル

令和8年第４回伊奈町議会（定例会）

別紙のとおり。

〒３６２－８５１７
埼玉県北足立郡伊奈町中央四丁目３５５番地
電話 ： ０４８－７２１－２１１１（代表）
FAX ： ０４８－７２１－２１３６
URL ： https://www.town.saitama-ina.lg.jp

ROSE TOWN INA
バラのまち
伊奈町

令和８年 第４回伊奈町議会（定例会）

会 期 予 定 表

日 次	月 日	曜日	開議時刻	摘 要
第1日	11月25日	水	午前11時	○ 開 会 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 会期の決定 ○ 諸報告（議会報告、行政報告、報告第6号） ○ 閉会中付託案件の審査報告 ・決算認定について（決算特別委員会）の報告、質疑、討論、採決 ・各常任委員長の所管事務調査報告 ○ 議案（第70号～第82号）の上程、説明、質疑、討論、採決 ○ 議案（第83号～第91号）の上程、説明 （行政報告、報告第6号、議案に対する質疑通告）
第2日	11月26日	木		○ 休 会（議案調査）
第3日	11月27日	金	午前9時	○ 行政報告に対する質疑 ○ 報告第6号に対する質疑 ○ 議案に対する質疑、委員会付託
第4日	11月28日	土		○ 休 会
第5日	11月29日	日		○ 休 会
第6日	11月30日	月	午前9時	○ 総務建設産業常任委員会
第7日	12月1日	火	午前9時	○ 文教民生常任委員会
第8日	12月2日	水	午前9時	○ 一般質問（①木俣、②藤原、③大沢、④戸張、⑤山野）
第9日	12月3日	木	午前9時	○ 一般質問（⑥大野、⑦冨井、⑧五味、⑨川内）
第10日	12月4日	金	午前9時	○ 一般質問（⑩仲島、⑪栗原、⑫武藤、⑬青木）
第11日	12月5日	土		○ 休 会
第12日	12月6日	日		○ 休 会
第13日	12月7日	月		○ 休 会（予備日）
第14日	12月8日	火		○ 休 会（予備日）
第15日	12月9日	水		○ 休 会（予備日）
第16日	12月10日	木	午前10時	○ 委員長報告、報告に対する質疑 ○ 討論、採決（第83号～第91号議案） ○ 閉会中継続審査の申し出（議会運営委員会） ○ 閉 会

令和8年　第4回伊奈町議会定例会提出議案等（11月25日開会）

議案番号等	議案名等
報告第　6　号	専決処分の報告について
第　70　号議案	伊奈町公平委員会の委員の選任について
第　71　号議案	専決処分の承認を求めることについて（令和8年度伊奈町一般会計補正予算（第5号））
第　72　号議案	専決処分の承認を求めることについて（令和8年度伊奈町水道事業会計補正予算（第2号））
第　73　号議案	専決処分の承認を求めることについて（工事請負契約の一部変更について（志久駅エレベーター設置工事））
第　74　号議案	議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例
第　75　号議案	町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例
第　76　号議案	伊奈町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第　77　号議案	令和8年度伊奈町一般会計補正予算（第6号）
第　78　号議案	令和8年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
第　79　号議案	令和8年度伊奈町中部特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
第　80　号議案	令和8年度伊奈町介護保険特別会計補正予算（第3号）
第　81　号議案	令和8年度伊奈町水道事業会計補正予算（第3号）
第　82　号議案	令和8年度伊奈町公共下水道事業会計補正予算（第2号）
第　83　号議案	伊奈町特別職の職員で非常勤の者等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
第　84　号議案	伊奈町企業版ふるさと納税基金条例

令和8年　第4回伊奈町議会定例会提出議案等（11月25日開会）

議案番号等	議案名等
第　85　号議案	伊奈町子ども医療費支給に関する条例等の一部を改正する条例
第　86　号議案	令和8年度伊奈町一般会計補正予算（第7号）
第　87　号議案	令和8年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
第　88　号議案	令和8年度伊奈町介護保険特別会計補正予算（第4号）
第　89　号議案	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の規約の変更について
第　90　号議案	町道路線の認定について（開発行為）
第　91　号議案	公の施設の指定管理者の指定について

令和８年第４回伊奈町議会（定例会）

一 般 質 問 一 覧 表

発言順	質問議員	質問事項	質問要旨
1	木俣美千代 一問一答方式	1 伊奈町音頭の普及と継承について	1 伊奈町音頭の成り立ちは。
			2 伊奈町音頭をどのように普及し継承していくのか。
			3 ホームページ等を活用した踊り方の発信の見解は。
		2 公園トイレの個室内の照明について	1 公園トイレの個室内の照明設備の設置状況は。
			2 公園トイレの個室内の照明設置の基準は。
			3 個室内の照明に人感センサーを導入する見解は。
		3 男子ＨＰＶワクチンの接種費用の助成について	1 県内で男子ＨＰＶワクチンの接種費用の助成を行っている自治体は。
			2 調査研究の進捗状況は。
			3 男子ＨＰＶワクチンの接種費用の助成の実施の見解は。
		4 災害時におけるペットの健康と命を守る避難環境の確保について	1 飼い主とペットが一緒に避難生活を送れる環境の確保について町の見解は。
			2 動物関連事業者等の協力体制を構築する考えについて町の見解は。
		5 災害時における応援職員の受け入れ体制について	1 町では、災害時における人的応援の受け入れに関する受援計画を策定していますが、策定時期、直近の見直し、計画の対象業務は。
			2 避難所運営、住家被害認定調査、罹災証明書交付、被害者相談などについて、災害時に必要となる職員数と、不足が見込まれる職員数を事前に算定しているか。
			3 熊本地震に被災者支援で職員が派遣されたが、現地で把握した課題や得た教訓を、町の災害対策や受援体制の整備にどのように生かすのか。
			4 人的応援の要請基準、決定する責任者、県や協定自治体への要請手順は。
			5 応援職員の受け入れ体制、執行場所、通信手段、宿泊場所の確保、各部局への配置と指令命令系統は整備されているか。
			6 受援計画に基づく全庁的な訓練は。
2	藤原義春 一問一答方式	1 ＡＩオンデマンドバスの導入における政策判断と事業評価について	1 運賃の設定に当たっては、利用者負担の公平性、利用促進、運行業者及び公費負担の適正化をどのように考慮したのか。
			2 運行業者はどこに決まったか。また、その決定の理由は。
			3 運行内容、予約方法、運賃、利用上の注意点について、町民にどのような方法で周知・説明するのか。

2	藤原義春	1 ＡＩオンデマンドバスの導入における政策判断と事業評価について	4 運行状況や利用者の声を共有し、課題を解決するための協議体制をどのように構築するのか。また、協議の頻度及び改善策の決定手順はどうなっているのか。
			5 導入後の検証結果を、運行区域、運行時間、予約方法、運賃その他の運行条件の見直しにどのように反映するのか。
			6 本事業の財政負担を中長期的にどのように見通し、持続可能な運行体制を確保していくのか。
		2 ニューシャトルを利用する高校生の通学費負担の軽減について	1 物価高騰が続く中、高校生の通学費が子育て世帯の家計に与える影響について、町はどのように認識しているか。
			2 令和７年度の収支決算によると、売上３７億３，８００万円、営業利益４億円、１日の乗降客５万５千人、年間２，０００万人以上の好業績を受けて、利用客の多い町として、高校生の通学定期の値下げや定期代金全般の値下げ、運賃全般の値下げについて、要望を行う考えはあるか。
3	大沢淳 **一問一答方式**	1 伊奈町生活応援商品券配布事業の検証と今後の給付事業について	1 事業の実施状況及び利用実績について。
			2 事業費総額及び事務経費の内訳について。
			3 商品券の配布・利用開始までの経過と課題について。
			4 生活支援、消費喚起及び地域経済への効果と、町民・参加店舗から寄せられた意見について。
			5 今後の給付事業における、迅速性や費用対効果などを踏まえた給付方法の検討について。
		2 内宿駅駐輪場の混雑解消と安全対策について	1 昨年９月議会の答弁以降、拡張の検討状況と今後の見通しについて。
			2 混雑や自転車の転倒による利用上の支障について、現状と町の認識について。
			3 整理員の配置や巡回を充実させ、安全性と利便性を改善する考えについて。
		3 教材の備品化による保護者負担の軽減について	1 町立小中学校で保護者が購入している教材・学用品の主な品目、学年別の負担額、使用頻度及び学校間の違いについて。
			2 補助教材・学用品等の保護者負担軽減に関する文部科学省の事務連絡を受けた町の対応及び教材の備品化の現状について。
			3 共用できる教材の備品化による保護者負担の軽減及び来年度予算への反映について。
		4 ゆめくる体育室へのエアコン設置について	1 体育室の暑さ対策の現状及びエアコン設置を求める利用者の声に対する町の認識について。
			2 体育室へのエアコン設置に関するこれまでの検討状況及び今後の整備の考え方について。
4	戸張光枝 **一問一答方式**	1 片目失明・喪失者への独自支援を	1 身体障害者手帳の対象とならない片目失明・喪失者や、義眼を使用する子どもとその保護者から、町に相談や支援の要望が寄せられているか。
			2 身体障害者手帳の対象とならず、既存の障害福祉制度による支援が届きにくい片目失明・喪失者の生活上の困難や支援の必要性を、町はどのように認識しているか。

4	戸張光枝	1 片目失明・喪失者への独自支援を	3 義眼を必要とする子どもへの医療費助成の適用状況と、償還払いによる高額な立て替え負担を把握しているか。また、立て替え負担を軽減する仕組みを検討する考えは。
			4 先進自治体を参考に、身体障害者手帳の有無にかかわらず、既存制度で十分な支援を受けられない片目失明・喪失者に対し、義眼の製作・調整・再製作等に係る町独自の費用助成制度を創設する考えは。
		2 更年期世代の心身の不調を支える体制づくりを	1 更年期による心身の不調について相談を受けた場合の対応は。また、必要に応じて婦人科等の医療機関や県の相談窓口につなぐ体制は整っているか。
			2 更年期に特化した情報提供は。
			3 専門職による相談機会について保健師等による既存の健康相談に「更年期」を明確に位置付けるとともに、必要に応じて産婦人科医や助産師等の専門職に相談できる機会を設ける考えはないか。
			4 更年期の悩みは、仕事や家庭を抱えている世代からの相談も多く、役場や保健センターに直接出向くことが難しい。オンラインによる相談方法を導入する考えはないか。
			5 町内及び近隣の医療機関、薬局等と連携し、更年期の相談から必要な医療につなげる仕組みの構築は。
			6 厚生労働省は、２０２６年度に「女性の健康に関する連携体制構築に係るモデル事業」を開始した岐阜県、石川県、福岡県北九州市、東京都豊島区の４自治体をモデル自治体として採択したが、今後、国や県の制度・モデル事業等を積極的に研究し、活用可能な財源がある場合は、財政負担を抑えながら更年期を含む女性の健康支援を進めていく考えはあるか。
		3 医療的ケア児等支援法の改正を踏まえた切れ目のない地域支援体制の構築を	1 医療的ケア児及び１８歳以上の医療的ケア者、重症心身障害児・者の人数や、現在の支援状況は。
			2 令和９年４月の改正法施行を見据え、埼玉県の医療的ケア児等支援センターや近隣自治体、関係機関との連携をどのように強化し、切れ目のない支援体制を構築していくか。
			3 町では、医療的ケア児が学校を卒業し、成人期へ移行する際の進路や日中活動の場、医療・福祉サービスの継続について、どのような支援を行っているか。
			4 医療的ケアに対応できる生活介護事業所や日中活動の場、将来的な住まいの確保について、近隣自治体や事業者との連携を含め、受け入れ体制の拡充を図るべきであるが見解は。
			5 医療的ケア児・者を在宅で支えるご家族の介護負担や、夜間の医療的ケア、休息の確保など実態把握は。
		4 コスメバンクプロジェクトを活用したひとり親家庭への支援充実と災害時の女性支援を	1 児童扶養手当受給世帯数と、ひとり親家庭に対する現在の支援内容は。
			2 児童扶養手当の現況届など、既存の行政手続きを活用し、対象者へ支援物資を直接手渡しする取組について、町の考えは。
			3 送料や梱包費などの比較的小さな財政負担で実施できるコスメバンクプロジェクトについて事業化した場合の予算規模と導入する考えは。
			4 町の指定避難所等において、女性向けの衛生用品や生活用品として、どのような物資を、どの程度備蓄しているか。

4	戸張光枝	4 コスメバンクプロジェクトを活用したひとり親家庭への支援充実と災害時の女性支援を	5 災害時における女性の健康と衛生面への配慮として、女性の視点に立った備蓄品の充実を図る考えは。
			6 災害時に必要な女性向け支援物資を確実に確保するため、町による備蓄に加え、民間企業や関係団体との災害時物資供給協定など、外部との連携体制を充実させる考えは。
5	山野智彦 **一問一答方式**	1 新庁舎の新しい機能によるにぎわい創出策について	1 新庁舎１階に新設されるギャラリーや町民活動室は、どのように活用、運営していく予定か。
			2 新庁舎の外につくられる広場については、どのように活用、運営していく予定か。
			3 併設される２階の図書館について、利用者の増大、活性化につながる新たな方向やアイデアはあるか。
		2 絵本の読み聞かせや読書の推進を行うことについて	1 幼児や児童のいる家庭で、絵本の読み聞かせの推進が、家庭内のコミュニケーション向上の有力な方策のひとつとなる可能性はないか。
			2 町内小中学校の教育において、読書の位置づけと指導方針、実際の取組の状況はどうか。
			3 デジタル普及の問題点・弊害を解消するためにも、読書習慣のある児童、生徒を増やすような積極的な方策を打ち出してはどうか。
		3 町民のため給付・無償化事業の見直しを	1 令和６年度以降に実施した給付・免除・無償化事業（生活応援商品券、水道基本料金の免除、学校給食費の免除、児童手当の増額、高校生世代応援給付金など）の主なものと、それぞれの事業費の総額は。
			2 一時的な給付・無償化は、実施するとやめにくく、財源は結局、町民・国民の税と将来の借金である。新たな負担増を生まないためにも、給付・無償化は見直すべきと考えるが、町の認識を伺う。
			3 本年１０月の年金振込では、天引きの切り替えで手取りが減ったという声が全国で聞かれる。町に寄せられた問い合わせや相談の状況はどうか。
			4 給付・無償化を見直し、新たな負担増を生まないこと、町民の手取りを持続的に守ることを、予算編成の物差しにすべきと考えるが、町の所見を伺う。
6	大野興一 **一問一答方式**	1 都市計画道路伊奈中央線の拡幅工事の進捗状況について	1 第２期整備区間の工事の進捗状況は。
			2 県道上尾・蓮田線と町道第２１号線の交差点から上下水道庁舎までの歩道の工事も進むのか。
			3 県道上尾・蓮田線が朝・夕方に渋滞が発生している。都市計画道路伊奈中央線の早期完成の推進を。
			4 伊奈病院東側交差点の信号機はいつつくのか。
			5 都市計画道路伊奈中央線に係る土地買収の進捗状況は。
		2 シェアハウス（共同住宅）の火災について	1 今年１０月に小室地内のシェアハウス（共同住宅）で火災が発生したが、原因は何か。
			2 町は、シェアハウス（共同住宅）について､消防法上の届出状況を把握しているのか。

7	冨井篤弥 **一問一答方式**	1 安心して暮らせる住環境の維持向上のために	1 町内の土地について、土地所有者の住所地別の内訳はどのような現状であるか伺う。
			2 町内の土地・建物について、適正な維持管理を町外・外国在住の所有者に対してどのように町は周知・啓発しているか伺う。
			3 土地・建物の固定資産税の収納率について、納税義務者の国民・外国籍別の状況は。
			4 町内には、重要土地等調査法に基づく区域指定のある地域はないが、これについて町の受け止め方や考え方を伺う。
		2 ショート動画の流行と子どもへの影響について	1 町内の教育現場では、動画共有サービスやショート動画による子ども達への影響が懸念・問題となっていることはあるか。
			2 教育現場において、子どもの集中力に変化等は生じているか。
			3 集中力を持続させるために、学校現場で意識的に取り組まれていること等はあるか。
			4 子どものスマホやインターネットとの向き合い方について、ネットリテラシーの教育や相談体制を伺う。
		3 町役場の業務効率化と働き方改革の推進について	1 町役場の開庁時間と職員の勤務時間が現状として同じである理由は。
			2 多くの自治体で業務効率化ならびに働き方改革として、窓口受付時間短縮の試行や実施が行われているが、町の捉え方を伺う。
8	五味雅美 **一問一答方式**	1 農地の保護、活用を	1 農地を農地以外に使用、売却などをする場合の規制、手続きはどうなっているか。
			2 伊奈町での農振除外、農地転用はどのように進んでいるか。
			3 「伊奈町農業戦略マスタープラン」で掲げられている、施策区分３「農地の有効利用」の取組状況はどうか。
			4 施策区分２「担い手の育成」の取組状況はどうか。
		2 消防広域化の検証を	1 消防広域化によって、町として期待された効果は、どうなったか。
			2 今後の課題は何か。
9	川内雅人 **一問一答方式**	1 不登校の未然防止の取組について	1 魅力ある学校・学級づくりの具体的な取組は。
			2 児童生徒や保護者対象の学校環境・人間関係に関する定期的なアンケート調査を実施しているか。
			3 子どもたちが表に出していないいじめの把握方法は。
			4 「ＳＯＳの出し方に関する教育」の実施状況は。
			5 「心の健康観察アプリ」を導入している学校はあるか。
			6 小中学校間での不登校の予防や早期発見に関する情報交換、効果的な取組の共有方法は。

9	川内雅人	2 職員表彰制度とボトムアップ型組織について	1 職員表彰規程に基づく、過去５年間の表彰の件数は。
			2 第５次伊奈町行政改革大綱の「職員改革提案制度」は、現在どのような仕組みで運用されているか。
			3 先進事例を踏まえ、表彰・提案制度が職員の意欲向上や業務改善に与える効果を、町はどのように認識しているか。
10	仲島雄大 **一問一答方式**	1 学校給食センターの職場環境の改善と給食の魅力を生かしたまちづくりについて	1 学校給食センターにおける暑さ対策実施の状況と効果、安全確保の体制及び今後の職場環境の改善方針について伺う。
			2 安定した給食提供を支える人員体制と職員が安心して働き続けられる職場環境の整備について伺う。
			3 学校給食の残食の現状と子どもたちの声を調理員のやりがいや給食の改善につなげる取組について伺う。
			4 学校給食の魅力を町民へ伝える取組の現状と子育てしやすいまちづくりへの活用について伺う。
		2 災害時における情報伝達手段の充実について	1 災害時における町の情報伝達手段の現状について改めて伺う。
			2 地域コミュニティＦＭラジオを活用した災害時の情報伝達手段について町の認識を伺う。
			3 災害時の情報共有に向けた放送事業者との連携について伺う。
11	栗原惠子 **一問一答方式**	1 子どもたちの将来の健康を守るための脊柱側弯症の早期発見と学校検診の充実について	1 町ではモアレ検査を平成２９年度を最後に取りやめたとのことだが、その理由と、当時の判断に至る経緯はどのようなものか。
			2 現在、小中学校における脊柱側弯症の検査は、どのような方法・体制で実施しているか。また、家庭での確認や保健調査票の情報を、学校医による検査にどのように活用しているか。
			3 近年、脊柱側弯症の疑いがあるとされた児童生徒はどの程度いるか。また、医療機関への受診勧奨、受診結果の確認、その後のフォロー体制はどのようになっているか。
			4 検診で身体の硬さや柔軟性の低下が認められた児童生徒に対し、理学療法士など専門職による運動指導や、学校でのストレッチ習慣を取り入れる考えは。
			5 医療機関、医師会、学校、教育委員会が連携し、検診結果の検証や改善策を協議する場など検討会を設ける考えは。
			6 伊奈病院などと連携し、理学療法士による運動指導を取り入れたモデル事業を実施してみてはどうか。
		2 市街化調整区域における住宅建築機会の確保と土地利用の見直しについて	1 町の市街化調整区域において、自己又は子・孫等の住宅を建築したいという住民や地権者からの相談は、町にどの程度寄せられているか。
			2 都市計画法第３４条第１１号及び第１２号に関する住宅建築の相談のうち、許可に至った事例と、許可に至らなかった事例には、それぞれどのようなものがあるか。
			3 市街化調整区域において、農地として維持する意向がありながら、耕作や管理の継続が難しい地権者について、町はどの程度把握しているか。また、それに対してどのような支援をおこなっているか。

11	栗原惠子	2 市街化調整区域における住宅建築機会の確保と土地利用の見直しについて	4 県は、市町が区域指定などを政策的に検討する際には技術的助言を行うとしているが、市街化調整区域の住宅建築に関して町は県からどのような助言や支援を受けているか。
			5 市街化調整区域において、住宅の建築を希望する住民や地権者に対し、現行制度の下で、制度の案内や関係課が連携した相談対応など、町としてどのようなことができるか。
12	武藤倫雄 **一問一答方式**	1 町の景観と安全を護る対策について	1 民有地から町道への樹木や雑草の張り出しについての対応はどうか。また、県道についてはどうか。
			2 町有地の雑草と堆積残土についての対応はどうか。
			3 違法な建築物等の認知状況と対応はどうか。
			4 ヤード等の現状把握と条例制定の研究・検討状況はどうか。
		2 地域課題について	1 公園のない地域についての進捗状況はどうか。
			2 志久駅・丸山駅へのロータリー設置はどうか。
			3 飲食店や小売店の誘致にもっと力をいれてほしいがどうか。
			4 丸山駅周辺を南の観光地とする取組状況はどうか。
13	青木久男 **一問一答方式**	1 不登校予防について	1 不登校に対して町の見解は。
			2 不登校の現状として、①児童生徒数と出現率及び県平均との比較は、②町内各学校ごとの出現率は。
			3 不登校の要因は何か。
			4 不登校の予防とその成果として、①全ての児童生徒に対しての未然防止策は。②欠席がちな児童生徒の早期発見、早期対応策は。③既に不登校の児童生徒への再登校支援策は。